

広島県中小企業団体中央会 2023年7月分情報連絡員一覧票

(食料品)

●食料品

中国醤油醸造協同組合

当月の出荷量は前月比▲4.4%、前年同月比▲3.3%。売上高は前月比▲7.0%、前年同月比+8.4%となった。

広島県東部菓子商工業協同組合

売上は順調だが、原材料代、燃料代、運賃の高騰が、経営を圧迫している。加えて人件費も上がってきており、さらなる負担になってきている。

(繊維工業)

●繊維工業

一般財団法人広島県織物工業会

コストアップの状況の中、価格転嫁が出来ていないように思える。さらに、非常に暑い日が続いているため、エネルギーコストがアップし、今後の消費動向に影響が出ることも予想される。

広島県アパレル工業組合

夏用の商材の売れ行きが好調である。

山陽テクノ協同組合

少しずつではあるが、交渉次第で取引条件が良くなっていると思われる。

(木材・木製品)

●木材・木製品

広島県木材協同組合連合会

【全 国】

- ・6月の新設住宅着工戸数は71,015戸で前年同月比▲4.8%、季節調整済年率換算値では811,000戸(前月比▲5.9%)となった
- ・利用関係別では、持家は20,325戸で前年同月比▲12.4%、貸家は30,112戸で▲0.6%、分譲住宅は20,084戸で▲2.9%、また木造住宅は39,672戸で対前年同月比▲6.4%であった
- ・住宅着工動向の前年同月比は、持家の減少が19ヵ月連続となり、貸家及び分譲住宅が再び減少に転じ、木造住宅は昨年4月以降15ヵ月連続の減少となった

【広島県】

- ・6月の着工戸数は1,512戸で、対前年同月比+0.6%、うち持家は352戸で▲12.9%、貸家は683戸で+15.0%、分譲は428戸で▲14.6%であり、県全体の住宅着工戸数の前年同月比は2ヵ月連続で増加したものの、延床面積は対前年同月比▲7.0%となっている
- ・木材価格は、桧丸太は維持されているものの、スギ丸太、製品とも値を下げている。背景には、インフレによる住宅価格の高騰で施主の持家住宅の購入意欲が減退しており、延床面積の縮小による木材需要の減少が要因と思われる
- ・プレカット工場の稼働状況が好転せず、低調な需要が続く、仕事量が前年水準に届かない工場が多く、運賃・電気代・人件費等が上がっている状況で採算は非常に厳しい状況にある
- ・今後、住宅が省エネや耐震性能向上、物流費アップにより、さらに高価格化が進む要素もあることから、住宅での木材需要の見通しは厳しいことが想定されるため、非住宅を含めた木材の需給動向を注視しつつ、国産木材の需要変化に対応することが必要になる

(化学・ゴム)

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

- ・原材料価格、電気代、ガス代、運賃などの上昇分を取引価格に転嫁することが難しい状況が続いている。加えて、賃上げにより人件費も上昇し、経営状態は一段と厳しさを増している
- ・仕事量が増加している反面、労働者不足が深刻化している

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

諸材料費や電気代等の高騰分を取引価格へ転嫁させることが難しく、事業採算を大きく圧迫している。

(窯業・土石製品)

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

・出荷状況

令和5年07月 2,669 m³ (対前年比95.8%)

令和5年06月 2,720 m³

令和4年07月 2,652 m³

・令和5年度想定数量

800,000 m³

(鉄鋼・金属製品)

●鉄鋼

靱鉄鋼協同組合連合会

・猛暑のため、熱間鍛造作業等の事業所は、生産性が著しく低下していると思われる

・SDGsやBCPも今後の重要課題であるが、中小、零細企業が直面している一番の課題は人材確保と後継者問題である

●金属製品

広島金属工業協同組合

・業界動向は依然高位安定である

・仕事をこなしきれない状況だが、外注応援を求めようとしても適当な受注先が無いいため、フル操業が続いている

・好調な受注状況だが下期に入ると対前年度比で更なる伸びが予想されており、生産能力を超えた受注が続く

●一般機械

(一般機械器具)

広島県東部機械金属工業協同組合

売上は前月比▲25%、前年同月比は+10%となった。販売量及び販売単価の上昇が前年同月比の増加要因と考えられる。また、日工会が発表する6月工作機械受注実績は前年同月比▲21.1%の1,220億2,500万円と6ヶ月連続で前年同月を下回ったが、2ヵ月ぶりに1,200億円を上回った。

(電気機械器具)

広島県東部機械金属工業協同組合 (電気機械器具)

売上は前月比+3%、前年同月比▲5%となった。産業用機械・産業用ロボット・工作機械等、製造業向け受注が低調で、機械、部品ともに売上は低調に推移している。

(輸送用機器)

●輸送用機械器具 (自動車)

東友会協同組合

組合員の業況は、ビジネス依存度が高い主要顧客(マツダ)の業況(生産台数)に比例している。

(7月度 自動車 国内販売動向)

全需は379千台、前年同月比+8.5%と11ヶ月連続で増加。(登録車は+18.3%、軽自動車は▲6.9%)、マツダ車は+2.3%。内訳は登録車▲5.9%(11.8千台)、軽自動車+49.0%(3.3千台)。

(6月度 自動車 海外販売動向)

アメリカの全需は1,385千台で、前年同月比+20.8%と11ヶ月連続で増加。マツダは+96.9%と、前年同月を8ヶ月連続で上回る結果となった。

欧州の全需は1,360千台で、前年同月比+17.1%と10ヶ月連続で増加。マツダは+74.1%と前年同月を7ヶ月連続で増加。

中国の全需は2,506千台で、前年同月比+0.1%と横ばい。マツダは▲27.9%と27ヶ月連続で前年割れとなった。

マツダの6月の海外販売は、欧米では大幅に回復傾向にあり、中国やタイなどアジアの主要市場で苦戦は続いているが、合計台数は90.0千台、前年同月比+47.7%となった。

(6月度 自動車 輸出・生産動向)

マツダの輸出台数は、前年比+15.5%と6ヶ月連続で増加。国内生産台数は、前年同月比▲8.2%。

八本松工業団地協同組合

自動車関連、一般機械共に生産量が減少している。

●輸送用機械器具（造船）

中国地区造船協議会

県内、2,500総トン以上の令和5年6月の船舶建造許可実績は4隻、214,490総トンであった。（前月0隻。前年同月2隻114,250総トン）なお、内訳は輸出船が4隻で、貨物船3隻、油槽船が1隻であった。

（一社）中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化は無い。

（卸売業）

●卸売業（総合）

協同組合広島総合卸センター

- ・天候不良や猛暑の影響から足元では客足が伸びず、景況感はやや鈍化している。原材料高によるコスト上昇や人手不足が収支に影響を及ぼしており、価格面の優位性がない小規模事業者の経営状態は引続き厳しい
- ・令和4年度3月決算事業者の内容を見ると、中堅企業はコロナ禍からの回復状況が顕著で前年比では増収（増益）が見受けられるが、中小・小規模事業者は減収となっているところが数多く、資金繰り的にも苦戦を強いられている様相が伺える
- ・明るい材料としてはコロナ禍で控えていた設備投資の再開意欲がやや高まっており、耐用年数が長い社屋等への投資も今後、増加していく見通しあり

●卸売業（電設資材）

広島県電設資材卸業協同組合

官公庁物件の見積が継続して増加傾向にある。この時期は毎年エアコンの更新工事が増加する中、今年は特に節電に対する省エネ高機能エアコンの提案が重要だと思われる。

●卸売業（畳・敷物）

広島県畳製品商業協同組合

藁草の伸長が悪く、収穫量が減少傾向にある。取扱高としては、びんご特撰では前年比96.5%で推移したものの、JAS表では前年同月で67%、前年対比では83.3%と落ち込み▲5,000枚となった。8月からは生産体制に入るため、生産量が増える見込み。

（小売業）

●各種商品小売業

広島生鮮三品連絡協議会

- ・市場水産部の取扱高はコロナ禍からの回復基調が継続し、前年実績をクリアする状況が継続しているが、単価上昇についていけない低所得層の買い控えが更に進むことが懸念される
- ・市場青果部の取扱高は宿泊・飲食業の回復から納入業者は需要が増してきたが、小売業者は相次ぐ食品値上げから消費者の節約志向が高まり売上の伸びに企業格差が出てきている
- ・記録的な猛暑や局所的な豪雨など気候に左右されやすい青果物は出荷量が不安定で相場が高くなってきた。今後、売上や収益に影響が出る恐れがある
- ・水道光熱費・燃料費等の高騰の中で賃上げ等の従業員の処遇改善を行う余裕がない事業者が多くなっている。価格転嫁しづらい状況もあり、収益の悪化が引き続き懸念される

協同組合三次ショッピングセンター

売上は前年並みを維持している。地域のイベントが徐々に再開されコロナ禍前の状態に戻りつつある。イベント開催は店舗周辺に多くの人が集まるため、今後の売上増加が期待できる。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

令和5年7月度販売実績98%（前年同月比）。AV商品95%、白物商品103%、薄型テレビ95（内有機79%）、DVD69%、冷蔵庫96%、洗濯機142%、クッキングヒーター90%、エコキュート66%、エアコン99%、炊飯器110%、電子レンジ108%、掃除機100%。

電気代値上がりのため、節電意識が強くなり省エネ商品への関心が高まっている。特定の地域では、その自治体による省エネ家電の補助金事業で一時的に需要は高まるが、地域・予算額が限られており、県全体の需要を高めるまでには至っていない。

●その他小売業（燃料）

広島県石油商業組合

- ・政府による原油高騰対策として実施されている燃料油激変緩和対策事業の9月末終了に向け、補助金が段階的に引き下げられていることに加え、原油高や円安が進行し、仕入価格・販売価格は上昇している
- ・今後も補助金の引き下げや、産油国の減産による原油高騰要因により価格の上昇は避けられない見通し

- ・例年であれば、需要期である夏場は販売数量が好調に推移するが、消費者の節約意識が大きく影響し、昨年比で販売量が減少している店舗が散見され、業界全体で厳しい状況が続いている

(商店街)

●商店街（各種商品小売業）

呉本通商店街振興組合

7月22日(土)に4年ぶりに「呉湾海上花火大会」が開催され、約2千発の花火が呉湾上空を彩った。また、呉本通商店街では8月5日の土曜夜市(呉市中央地区商店街共催)の前夜祭として、7月29日(土)に「きらら夏フェス2023:大人の夜市(令和版)」を単独イベントとして実施した。PR日数の不足もあって来場者は予定を下回ったものの、それなりの盛り上がりを見せた。

(サービス業)

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

- ・車検台数は、前月比▲11.9%、前年比+2.1%
- ・車検場収入は、前月比▲11.7%、前年比+2.7%
- ・重量税・登録印紙税の売上は、前月比▲11.3%、前年比▲9.4%

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

全体的に稼働し始めているが、例年閑散期である為、下降すると思われる。

●情報サービス

一般社団法人広島県情報産業協会

電子部品の入手難が解消されたが、コロナ前の水準に戻っていない。インフラ系への投資も増加傾向にある。

●警備業

広島県警備業協同組合

人材不足に悩まされている。

(建設業)

●工事業

広島県室内装飾事業協同組合

カーテン、敷物、壁装クロスの3品目合計について、当月は前月比+23.1%、前年同月比+4.8%となった。受注件数は増加傾向にあるが、規模の大きい案件はなく、大きく上振れる気配はないため見通しはつきづらい。

福山地区電気工事業協同組合

当月分の受付件数は432件となり前年同月比128%となった。

神辺建設業協同組合

受注減少傾向にある。

(運輸業)

●道路貨物運送業

広島東部トラック運送事業協同組合

- ・当月の売上高は、対前月比は増加、対前年同月比は減少した
- ・軽油価格は国からの補助金の減少と原油価格の高騰により、4.3円の大幅値上げとなった
- ・燃料価格高騰分の価格転嫁が進まず、収益状況が悪化している

松永地区トラック事業協同組合

7月の売上高は、対前月比では増加、対前年同月比では変化はなかった。6月の荷動きが悪く、7月は多少期待していたが、前月より貨物量は増えたものの月末につれ減少して前年同月並みとなった。2024年に向けて、運賃の値上げ交渉を行い、労働環境の整備を行っていきたいが、現状は厳しい。2024年問題について荷主側の理解が早急に必要と思われる。

中国カーゴ軽自動車運送協同組合

従業員の高齢化が深刻である。

●水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

- ・船員の高年齢化が進み船員不足である
- ・若年船員が育たない
- ・運賃や用船料の改善がみられない

(その他)

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

- ・前月比では、前月に受注した一般鑑定作業の入金があり売上高、収益状況が好転している。前年同月比も今期は一般鑑定が増加しており、売上高、収益状況、資金繰りは好転している
- ・不動産市場については、材料費の高騰や人手不足で、戸建住宅、共同住宅の建築等が減少しているが、マンション販売については、近時新築マンションの建築・販売が増えている。中古マンションについては依然として販売価格が高値で推移している